

# 第 10 期 江別市社会教育総合計画 (令和 6 年度～10 年度)

## 策定方針 及び 現計画の点検・評価について

### 《添付資料》

- 第 10 期 江別市社会教育総合計画策定方針 別紙-1
- 江別市社会教育総合計画の策定の根拠等について 別紙-2
- 第 9 期 江別市社会教育総合計画成果指標一覧 別紙-3

令和4年10月20日

江別市教育委員会生涯学習課

## 第10期 江別市社会教育総合計画策定方針

江別市教育委員会では総合的な社会教育行政の推進のため、5年毎に江別市社会教育総合計画を定め、これに沿って各種の事業を推進している。

現在進行中の「第9期江別市社会教育総合計画」(平成31年度－令和5年度)は来年度で計画期間を終了することから、「第10期 江別市社会教育総合計画」(令和6年度－令和10年度)を本方針により策定する。

### 1 計画策定の背景と趣旨

現計画の策定にあたっては、「江別の風土を生かし、豊かで潤いのある地域社会を創造する人づくり」を基本理念として定め、「地域全体で子どもを守り育てる体制づくり」「学びを支える生涯学習の推進」「地域で育まれた多様な文化の再発見と創造」の3点を基本目標に設定し、家庭・地域の教育力の向上、学習の機会・情報の提供、地域と学校、関係団体等との連携・協働など、様々な社会教育施策の推進を図ってきた。

しかしながら、人口減少や少子高齢化の進行、地域のつながりの希薄化、地域の教育力や家庭の教育力の低下といった社会問題は深刻化している。また、令和2(2020年)年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済社会も地域社会も大きな変化を強いられ、市民生活においても、新たな生活様式として非接触やオンラインが推奨され、学校をはじめとし急速な勢いでICTが進展するなど、私たちを取り巻く環境はめまぐるしく変化している。

このような状況の中、これからの社会教育には、時代の変化に対応し、多様化していく市民の自発的な学習活動を積極的に支援・援助していくことが必要であり、「人生100年時代」を迎え、一人ひとりが生きがいを持ち、自分らしい人生を送ることができる生涯学習社会の実現が求められている。

2015年9月の国連サミットでは、「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択され、加盟国193か国が2030年までに達成するための17の国際目標が掲げられ、SDGsの理念を踏まえ、誰一人として取り残さない社会づくりを目指した取組が求められている。また、平成30(2018)年12月の

中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」においては、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりが重要な社会教育の役割とされ、社会教育の重要性は一層高まっている。

江別市の社会教育においても、時代の要請と社会の変化、市民ニーズの変化を的確に捉えるとともに、これまで推進してきた施策・事業の成果や課題についての点検・評価を踏まえ、今後の社会教育を推進していく必要がある。

## 2 計画策定の基本的な考え方

本計画は、「第7次江別市総合計画」（令和6年度～）を上位計画とし、「第9期江別市社会教育総合計画」（平成31年度～令和5年度）を基調としながら、「江別市子どもの読書活動推進計画」（令和6年度～）、「えべつ・安心子育てプラン（江別市子ども・子育て支援事業計画）」（令和2～6年度）、「江別市男女共同参画基本計画中間見直し版」（平成31～2023年度）、「江別市地域福祉計画」（令和2～6年度）等、関連する計画等で示された考え方や施策との整合性に配慮するとともに、国の「教育振興基本計画」や道の「教育推進計画」が策定されることから、その動向も注視する。また、まちづくり市民アンケートや市民の要望・意見を参考とし、江別市の地域性を踏まえた計画の策定を目指す。さらに、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、今後の社会教育の在り方について審議を進めたい。

## 江別市社会教育総合計画の策定の根拠等について

策定の根拠	<p>江別市社会教育総合計画は、教育基本法第16条第3項及び第17条第2項による国の教育振興基本計画を参酌し、総合的な社会教育行政の推進のため、市町村がその地域の実情に応じた教育の振興のための施策について定める計画である。</p> <p>(教育基本法第16条第3項) 地方公共団体は、その地域における教育の振興を図るため、その実情に応じた教育に関する施策を策定し、実施しなければならない。</p> <p>(教育基本法第17条第2項) 地方公共団体は、教育振興基本計画を参酌し、その地域の実情に応じ、地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。</p>
計画の位置付け	<p>国の教育振興基本計画や北海道教育推進計画を参酌するとともに、江別市の最高規範である「江別市自治基本条例」に基づき策定された「江別市総合計画」が示す分野別の政策「まちづくり政策」に沿って策定される生涯学習・社会教育分野の個別計画として位置付けられるものである。</p> <p>また、市長が定める江別市の教育、学術及び文化の振興に関する「江別市教育大綱」をはじめ、「江別市子どもの読書活動推進計画」「えべつ・安心子育てプラン（江別市子ども・子育て支援事業計画）」「江別市男女共同参画基本計画」「江別市地域福祉計画」などとの整合性を図り、市民意見の反映に努めながら、江別市民の地域性を踏まえた計画として策定する。</p>
計画期間	<p>現行計画（第9期） 平成31年度から令和5年度まで（5年間） 次期計画（第10期） 令和6年度から令和10年度まで（5年間）</p>
策定方法	<p>(1) 江別市社会教育委員の会議による立案・協議（諮問・答申） 委員10名（学校教育関係者、社会教育の関係者等） 計画立案のための専門部会を設置（委員から5名選出）</p> <p>(2) 庁内会議の設置及び開催 計画に関係する部署の課長職を中心に構成する。</p> <p>(3) 議会への報告</p> <p>(4) 計画素案について関係団体から意見聴取する。</p> <p>(5) パブリックコメントによる市民意見の反映（令和5年度実施）</p> <p>(6) まちづくり市民アンケートの活用（企画政策部政策推進課実施）</p>

第9期江別市社会教育総合計画成果指標一覧

基本目標	基本方向	成果指標	単位	年度							成果指標の達成状況	社会教育委員の点検・評価				
				初期値 H29	H30	R1	R2	中間値 R3	R4	目標値 R5		5	4	3	2	1
				目標を達成している											目標を達成している	ある程度目標を達成しており、上昇傾向がみられる
I 地域全体で子どもを守り育てる体制づくり	1 家庭の教育力の向上	公民館の「子育て支援事業」の参加者数	人	1,707	1,939	1,335	765	915		→	新型コロナウイルスによる公民館等の施設の休館や各団体の活動の自粛により参加者数が減少している。			○		
		家庭の教育力向上を支援するサービス等の利用者数	人	34,337	39,540	35,411	26,265	18,590		→	新型コロナウイルスの影響を受け、子育て支援センターの休館やあそびのひろばの入館者制限を行ったことにより利用者数が減少している。				○	
	2 地域の教育力の向上	学校・家庭・地域の連携がとれていると思う市民割合	%	79.8	81.9	80.5	75.9	74.7		↗	新型コロナウイルスの影響で思うような事業展開ができず、市民の評価に至っていないと考えられる。				○	
		学校が地域交流の場として活用されていると思う市民割合	%	64.4	64.9	65.0	59.2	56.6		↗	新型コロナウイルスの影響による休校のほか、再開後も学校内で感染症が広がるリスクを避けるため、交流の機会が減少した。				○	
	3 子どもの可能性を引き出す教育の充実	ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒の割合	%	63.8	57.6	60.2	51.8	44.2		↗	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、R2年度より、外部との接触を避ける傾向が強く、減少傾向にある。				○	
4 子どもの安全・安心な環境づくり	子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	45.6	50.0	47.9	51.1	50.9		↗	就学前の幼児教育や保育サービス、小中学校教育への取組について、保護者から一定の評価を受けている。		○ ←	○			

基本目標	基本方向	成果指標	単位	年度							成果指標の達成状況	社会教育委員の点検・評価				
				初期値 H29	H30	R1	R2	中間値 R3	R4	目標値 R5		5	4	3	2	1
				目標を達成している											目標を達成している	ある程度目標を達成しており、上昇傾向がみられる
II 学びを支える生涯学習の推進	1 生涯にわたって学ぶことのできる環境づくり	生涯学習の機会が充実していると思う市民割合	%	63.1	60.4	69.9	64.2	67.1		↗	市民の多様化した学習要求にこえるため、4大学等と連携した講座を総合的に情報提供し、市民の学習意欲の向上に貢献している。		○			
		生涯学習の施設が充実していると思う市民割合	%	66.9	64.0	72.6	66.8	70.4		↗	公民館等の設備改修や維持修繕に努めることで、安全で快適に利用できる生涯学習環境の充実に寄与している。		○			
	2 市民が行う生涯学習活動への支援	生涯学習の情報が充実していると思う市民割合	%	62.3	61.1	68.7	63.3	65.9		↗	多様な広報媒体通じた情報提供を継続して行ったことで、一定程度の取組成果が得られた。		○			
	3 協働・連携による生涯学習の推進	学習した成果を、まちづくりやボランティア活動に活かしている市民割合	%	21.8	30.1	30.5	16.2	23.1		↗	新型コロナウイルスの影響を受け、学習の成果を地域で活かす機会が縮小され、活動が広がっていない。			○		

基本目標	基本方向	成果指標	単位	年度							成果指標の達成状況	社会教育委員の点検・評価				
				初期値 H29	H30	R1	R2	中間値 R3	R4	目標値 R5		5	4	3	2	1
				目標を達成している											目標を達成している	ある程度目標を達成しており、上昇傾向がみられる
III 多様な文化の地域で育まれたいと創造	1 文化・芸術活動の促進	文化・芸術活動に参加している市民割合	%	23.5	23.2	26.7	22.8	20.9		↗	様々な主体で取り組まれている文化・芸術活動についての情報が、多くの市民に行き届いておらず、市民の評価に至っていないものと考えられる。			○ →	○	
	2 文化施設の活用促進	過去1年間に文化施設を利用した市民割合	%	30.5	30.8	32.0	23.6	24.9		↗	新型コロナウイルスによる文化施設の休館や公演活動の自粛により利用が進んでいない。		⊖	○ →	○	
	3 文化遺産の保存と活用	文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合	%	36.3	34.9	38.9	42.1	40.6		↗	概ね上昇傾向で推移しており、普及活動等により一定程度の成果が上がっていると考えている。引き続き、郷土史学習機会の提供などを通じて、江別の歴史と文化に対する市民の理解と関心を高めていく必要がある。		○			
郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催数		回	48	47	46	46	38		→	市内小中学校への利用呼びかけや、広報誌等を利用したPR活動により、一定の水準を維持している。今後もこうした取り組みを継続しながら、新規事業の立案等も行っていく必要がある。		○				

令和4年度 社会教育予算に係る補助金交付調書

資料2

担当	事業名	補助対象となる社会教育関係団体	補助の目的	補助の対象となる事項	補助金額	備考
生涯学習課 生涯学習係	江別市女性団体協議会補助金	江別市女性団体協議会	江別市女性団体協議会の事業支援を図り、女性の社会参加を通して社会的地位の向上及び地域社会の振興に寄与することを目的とする。	(1) 大会開催事業／江別市女性大会、江別市女性協まつり (2) 啓発事業／機関紙「えべつ女性協だより」の発行 (3) 研修派遣事業／北海道女性大会、地域交流活動費	400	
	家庭教育支援事業	江別市PTA連合会	江別市PTA連合会の事業支援を図り、児童・生徒の健全育成とPTAの生涯学習の充実に寄与することを目的とする。	(1) 各種研究大会旅費補助事業 (2) 児童生徒の健全育成に関わる委員会活動事業 (研修委員会・母親研修委員会)	408	
	生涯学習団体支援事業	江別市生涯学習推進協議会	江別市生涯学習推進協議会の事業支援を図り、江別市における生涯学習の普及及び推進に寄与することを目的とする。	江別市生涯学習推進協議会が実施する活動事業	1,000	
	青少年ふれあい交流促進事業	児童・生徒の健全育成と幅広い世代間の交流等の社会教育活動を実施する市内団体	児童・生徒の健全育成と幅広い世代間の交流等の社会教育活動を実施する市内団体の事業支援を図り、地域活動の活性化と地域教育力の向上に寄与することを目的とする。	(1) 交流事業 (2) 体験学習事業 (3) ボランティア事業 (4) 非行防止事業 (5) 芸術文化事業	1,200	
	聚楽学園補助金	江別市聚楽学園	江別市聚楽学園の事業支援を図り、高齢者の生きがいをづくりと生涯学習の促進及び高齢者の社会参加の推進に寄与することを目的とする。	江別市聚楽学園活動事業 (1) 儀式関係（入学式、卒業式、学園祭）の開催に係る経費 (2) 定例学習会の開催に係る経費 (3) 専攻講座の開催に係る経費	770	
	中学生国際交流事業	江別市中学生海外研修交流訪問団	姉妹都市グレンシャム市との相互交流を通じて、国際感覚の向上や異文化理解の促進及び国際的視野に立った青少年の人材育成に寄与することを目的とする。	江別市中学生海外研修交流訪問団が実施する研修交流事業	1,227	
生涯学習課 生涯学習係 (文化振興担当)	子どもの文化活動育成事業 (土曜広場)	えべつ子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会	市内の小中学生への伝統的な生活・文化の提供により、子どもたちが伝統文化に親しみ、人との関わりを大切にすることを学び、江別市の文化芸術活動が拡充されることを目的とする。	(1) 土曜広場の開催 (2) 土曜広場のつどい	1,200	
	江別市文化協会補助金（文化協会事業・市民文化祭開催支援事業）	NPO法人江別市文化協会	江別市文化協会の事業支援を図り、会員による自主的・主体的な芸術文化活動が活発になることを目的とする。また、市民文化祭の開催を通して、芸術文化活動への興味関心が高まり、市民主体の活動が行われることを目的とする。	(1) 文化協会事業 ①会員交流事業 ②会員拡大・研修・活動促進事業 ③顕彰事業 ④文化活動発信事業 ⑤えべつ未来コミュニティ事業 ⑥文化振興調査研究事業 (2) 市民文化祭開催支援事業 ①舞台部門 ②展示部門 ③文芸部門 ④生活文化部門	2,750	令和4年度に江別市文化協会補助金（文化協会事業）と市民文化祭開催支援事業を統合
	市民芸術祭開催支援事業	まちかどコンサート実行委員会 江別市民ミュージカル実行委員会 江別市民美術展受賞作品展実行委員会 えべつまちなかアート月間実行委員会	芸術文化の振興を目的とした市民組織の支援を通して、主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を活発に行い、江別市独自の創造型芸術文化活動の創出を目的とする。	(1) 舞台部門（江別市民ミュージカル） (2) 音楽部門（まちかどコンサート） (3) 展示部門（江別市民美術展受賞作品展、えべつまちなかアート月間）	1,900	
	芸術鑑賞招へい事業	NPO法人えべつ楽友協会 江別市民音楽振興会 えべつ笑の会 江別演劇プロジェクトWinds	芸術鑑賞機会の充実に目的とした市民団体の支援を通して、市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動が活発に行われ、かつ質の高い芸術鑑賞機会が増えることを目的とする。	(1) 音楽関係公演 (2) 演芸公演 (3) 演劇公演	2,050	

令和4年度 社会教育予算に係る補助金交付調書

資料2

担当	事業名	補助対象となる社会教育関係団体	補助の目的	補助の対象となる事項	補助金額	備考
生涯学習課 青少年係	子ども会育成事業	江別市子ども会育成連絡協議会	江別市子ども会育成連絡協議会及び各地区育成会において各種体験型事業等に参加する児童・生徒が増えることで、会の活動の活発化と子どもたちへの体験の機会が確保される。	江別市子ども会育成連絡協議会の運営に係る補助	737	
	はたちのつどい開催事業	江別市はたちのつどい実行委員会	20歳（はたち）の年齢到達に伴い、成年としてのほぼすべての権利を行使できるようになる人生の節目を祝福・激励することで、自らが自立した社会人であることへの責任とその自覚を促し、よりよい社会の創造への貢献の決意に加えて江別市民としての連帯感を高める。	はたちのつどいの開催に係る補助	180	
	青少年のための市民会議補助金	江別市青少年のための市民会議	家庭、学校、地域の様々な団体や行政が連携し合って、青少年の非行防止・健全育成の推進を図ることで、青少年を取り巻く環境が向上する。	青少年のための市民会議の運営に係る補助	120	
	小中学生国内交流研修事業	江別市小中学生国内研修交流訪問団	友好都市・土佐市との教育交流事業を実施することで児童生徒の友好都市への認識を深めるとともに、様々な生活文化や風土に触れ、豊かな感性が養われるようになる。また、異なる文化に触れることで、自分の住む地域を見つめ直し、江別市への理解を深めて郷土愛を育む。	友好都市・土佐市との相互交流（派遣・受入）及び事業集録作成等に係る補助	1,095	
スポーツ課 スポーツ係	スポーツ推進委員関係経費	江別市スポーツ推進委員協議会	市民に対するスポーツ活動促進のための組織を育成する。	スポーツ推進委員の知識・研鑽を深めるため、全国研究協議会派遣旅費の助成を行う。	50	
	スポーツ少年団補助金	江別市スポーツ少年団	・スポーツを行う青少年を増やす。 ・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。	スポーツ少年団が行う単位少年団育成強化事業、交流事業、リーダー要請事業等に対して補助を行う	1,815	
	江別市スポーツ協会補助金	江別市スポーツ協会	・競技力の向上 ・競技スポーツをする人の増加 ・競技スポーツを指導する人の増加と資質向上	スポーツ協会が行う単位協会活動費補助事業、ジュニアスポーツ育成事業、全道大会開催助成事業等に対し補助を行っている。	1,462	
	スポーツ大会等振興補助事業	(一財) 江別市スポーツ振興財団	健康づくりに興味・関心を持ち、大会参加を視野に入れたスポーツ活動を日常的に継続できる習慣を身につけ、生涯スポーツの基盤を構築する。	江別市スポーツ財団が行う原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会、健康体力づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業に対して補助を行う。	40,842	
スポーツ課 合宿誘致・スポーツ交流事業担当	スポーツ合宿誘致推進事業	道外からの合宿利用団体	スポーツ合宿の誘致、支援活動を通じ、市民の健康づくり、スポーツへの関心度を高めるとともに、トップアスリートなどとの交流により、ハイレベルなスポーツ技術の向上と市民スポーツ活動の活性化を図る。また、江別市のイメージアップによる誘客と人的交流を促進するなど、シティプロモートに資する。	・施設使用料の補助 ・市内宿泊料の補助	910	

令和4年度 社会教育予算に係る補助金交付調書

資料2

担当	事業名	補助対象となる 社会教育関係団体	補助の目的	補助の対象となる事項	補助金額	備考
郷土資料館 文化財係	野幌太々神楽伝承会補助金	江別市野幌太々神楽伝承会	江別市指定文化財（無形民俗文化財）である「野幌太々神楽」の保護及び保存を図る。	市民有志から成る団体による「野幌太々神楽」の保存伝承活動	300	
	野幌太々神楽保存会補助金	野幌太々神楽保存会	江別市指定文化財（無形民俗文化財）である「野幌太々神楽」の保護及び保存を図る。	指定文化財の保持団体による「野幌太々神楽」の保存伝承活動	150	